

# 東関東地方委員会 社会連帯 NEWS

2017年  
9月号

(9月20日発行)

担当：近藤

## 京葉エリア(ひだまり あおぞらカフェ)

〈2017年8月12日 第5回報告〉

毎月定例のひだまりケアラズカフェ。今回はお盆休みに入りましたが、ぬくもりの藤平所長はじめ19名の方が参加。8/5.6の両日に「谷津西部地区盆踊り大会」があった為、2週間前からチラシを配布・ポスター貼りをし、当日にはポスターを見て来てくれた方や、谷津ローズハート倶楽部の副会長が初めて参加して頂きました。中でも30代の女性の方から「行っていいのか分からなかったの、最初はドキドキしていましたが、みんなが歓迎してくれたのですぐに慣れた、来てよかった」と言ってくれた。また93歳の女性の方からは、「チラシは見たけど、忘れていて当日ポストを見たら、チラシが入っていて思い出した、これは行かなきゃと思って来た」と。初めて参加してくれた方がいつもより多いように見え、また当日は谷津高齢者相談センターの服部氏から、「体験としての認知症、暮らしをつくる」とのタイトルで、認知症になった方の体験談や認知症の方に理解しやすいライフスタイル等お話があり、ほぼ全員から「服部さんの説明がいい」「優しい説明で、分かりやすい」など意見が出ました。その後ひだまりの正木さんのマジックショーがあり、正木さんは皆さんに「女寅(おんなとら)さん」と呼ばれるほど好評でした。谷津5丁目町会長の阿萬さんも仕事の途中の様子を見に来てくれて、「人がいっぱい良かった、これからも地域の為に頼みます」と激励の言葉を頂きました。



## 茨城エリア(古河協同集会后の地域懇談会開催 No.2)

〈古河地域福祉事業所より〉

6月3日(土) いばらき協同集会 | N古河の集会后、実行委員会から2名、古河地福から2名と参加者ら10名が参加し7月より地域懇談会を開催する事になりました。映画ワーカーズ、協同集会と市民を巻き込んだ実行委員会が形成され、協同労働の意義を理解していただいた方や、ワーカーズだからやってくれそうだという市民が集まり、懇談会メンバーが結成できました。意見交換の中で、全国各地で抱えている、交通弱者問題、居場所問題、高齢化が進む中まった無しの問題ばかり、地域の市民、行政、社協、ワーカーズが力を合わせ、地域づくり、仕事おこしへ一歩を踏み出せたきっかけを作ってくれたのが、社会連帯基金を利用した協同集会でした。第2回懇談会も8月30日に開催し、移動事業や京丹後市の住民立のタクシ-の学習会を開催し、行政への聞き取りや居場所づくり等今後話し合うことになりました。



## 東葛エリア(松戸あじさい 森のサロン)

〈松戸あじさいより〉

あじさいでは初めてとなる「森のサロン」を開催しています。足もみマッサージや水彩画、スマホ操作方法等地域の方が毎月15名ほど参加しています。初回は8月20日、2回目が9月10日で午前と午後に分かれて開催しています。地域の方主導で運営を行い、今後あじさいでのプラットフォームでの取り組みにつなげていきたいと思ひます。

足もみマッサージやスマホ操作方法是大盛況です！



# 茨城町社会連帯活動～養蜂採蜜と今後の取り組み報告会

## ＜茨城町より報告＞

昨年より茨城町では安さん夫婦、亀山議員とともにまちづくりの取り組みとして養蜂活動を行っています。今期より社会連帯活動として8月29日に今年度2回目の採蜜を行い、東関東の各エリアや本部からも参加。採蜜から試食まで昨年は8キロとれましたが、今年は7キロ採れました。今後定期的な社会連帯活動やまちづくり、仕事おこしに向けて11月15日(水)に地域向けに会合を行うことを確認しました。



## 北総エリア(10/1 協同集会 in 東総の取り組み)

### ＜匝瑳市ではじめてとなる協同集会開催へ＞

昨年12月からはじまった千葉県東総地域における協同集会実行委員会は紆余曲折しながら熱い討議を行い、9月20日に第8日目となる最後の実行委員会を行い10月1日の集会に向けての最終確認を行いました。東総地域の農業の問題を切り口にソーラーシェアリング(エネルギーと農業)の取り組み、障がいのある方の就労と農業をつなげた実践等実行委員会がプラットフォーム化しており、地域課題と展望を語り合う1年でした。当日は無茶々園の大津清次代表を招いた記念講演と障害者就労支援ロザリオの聖母会、匝瑳ソーラーシェアリング等の東総地域での地域活動を報告、発信し今後のネットワークをいかした地域づくり、仕事おこしの取り組みにつなげていきます。まずは東関東の仲間が学びあい、ぜひ多くの参加をお願いします！(参加申込みはチラシ参照)



市民参加の協同集会「2017ちば協同集会inとうそう」

**参加費 無料**  
先着200名

市民の協同の力で  
まちづくり・仕事おこしにむけて  
「農業・福祉・エネルギーから地域を考える」

基調講演 **おまつ せいじ**  
講師 **大津 清次 氏**  
株式会社 地域法人 無茶々園 代表取締役  
「無茶々園40年の活動と21世紀型運命共同体づくり」  
～大地と共に心を耕せ～

1974年農業や化学肥料を多用する稲穂栽培に疑問をもち、地元のお寺の土地を借りて伊予組の無農薬栽培を開始。その無農薬栽培無茶々園(むちやちやん)と名づけた。40年かけて無農薬に有機農業を出発。産直活動や次世代育成など産直ビジネスモデルを確立したことや農業者と連携した環境維持活動や女性が活躍する介護事業、収益サービス、後援活用などの活動が平成28年度農林産物産出づくり部門で天皇杯を受賞。もつくり活動や今後の方針を話していきます。

日時 平成29年 **10月1日(日)** 13:00～16:30(12:30開場)  
13:00第1部 基調講演  
14:30第2部 パネルディスカッション

会場 **八日市場公民館・大会議室**  
住所：匝瑳市八日市場イ2402  
最寄り駅：八日市場駅より徒歩7分

主催 | 2017ちば協同集会inとうそう 実行委員会  
後援 千葉県・匝瑳市・鏡子市・船市・山武市・極楽光町・多古町  
一般社団法人日本社会連帯機構、一般社団法人協同圏内研究所、  
日本労働者協同組合連合会、NPO法人ワーカーズコープ関東東千葉本部  
※本会会は一般社団法人日本社会連帯機構の協力を得て開催します。

## 佐倉中志津ワーカーズコープ連絡会 より(この間の活動報告)

8月から3つのグループ(居場所、暮らしのサポート、協同農園)とワーカーズコープが連動した連絡会として名称を変え、食の文化祭、麻雀&パソコン教室&子ども図書館、90坪の農地を借りた協同農園が準備、スタートしています。自前の活動とともに、ワーカーズコープも商店街空き店舗を活用した担い手&講座事業も秋に向けて準備しています。



## 8/19 東関東×ワーカーズコレクティブ×WC ちば 現場視察ツアー開催

8月19日に昨年開催したワーカーズコープバスツアーを社会連帯×ネットワークちばのコラボ企画で開催。今回は東葛エリアの東葛地福(若者の就労)、流山梅の木(現場改革)、ワーコレ千葉の流山紙ふうせん(カフェ地域活動)の現場を視察。労福協やワーコレ千葉のメンバーはじめ19名参加しました。(今回も田村事務局長がバス運転をして頂きました！)



## 9月度 東関東地方委員会会議報告(9/11 参加者:小林、島野、羽賀、大場)

今回の会議では秋に向けた総会とプレゼンテーション開催、人事異動に伴う各エリア委員を議論しました。

①今年度の東関東地方委員会総会&プレゼンテーションは11月23日(勤労感謝の日)に決定！

②各エリアからの委員補強(北総①は成田から1名、北総②は白井から1名、茨城は古河から1名、京葉エリアはぬくもりかひだまり1名選出をお願いします。次回会議は10月10日(火)10時@事業本部です。

活発化している社会連帯活動！みんなで更に盛り上げていきましょう！